

原料費調整制度に基づく2026年3月検針分のガス料金について
(東京地区等)

東京ガス株式会社

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

(消費税込)						
1ヵ月のご使用量	料金表A 0～20m ³	料金表B 21～80m ³	料金表C 81～200m ³	料金表D 201～500m ³	料金表E 501～800m ³	料金表F 801m ³ ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,056.00	1,232.00	1,892.00	6,292.00	12,452.00
調整単位料金 (円/m ³) (参考)	150.92	136.07	133.87	130.57	121.77	114.07
補助金適用前 調整単位料金 (円/m ³) (参考)	168.92	154.07	151.87	148.57	139.77	132.07
2月 調整単位料金	149.85	135.00	132.80	129.50	120.70	113.00

2. 標準家庭における影響

(消費税込)				【参考】補助金適用前	
1ヵ月のご使用量 30m ³ (45MJ/m ³)	2026年 2月 ^{*1}	2026年 3月 ^{*1}	増減	2026年 3月 適用料金	補助金適用 前後の差
適用料金(円/月)	5,106	5,138	32	5,678	540

・標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量（2018年度～2022年度の5ヵ年平均）に基づき算定しています。

^{*1} 経済産業省の「電気・ガス料金負担軽減支援事業」実施に伴い、18円/m³値引きされています。

3. 原料価格の変動

(円/t)			
	2025年9月～2025年11月 の平均 (2月検針分)	2025年10月～2025年12月 の平均 (3月検針分)	対前期 差額
平均原料価格 (a)	82,570	83,840	1,270
LNG	82,650	83,930	1,280
LPG	77,490	78,430	940
基準平均原料価格(b)	57,250		
差額(a-b)	25,300	26,500	1,200

- ・LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■平均原料価格の算定

LNG平均原料価格(貿易統計値)	83,930	×0.9479
+ LPG平均原料価格(貿易統計値)	78,430	×0.0546

83,839.52

↓(10円未満四捨五入)

83,840 円/t

■原料価格変動額の算定

83,840 円/t − 57,250 円/t = 26,590 円/t

↓(100円未満切捨て)

26,500 円/t

■単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定(補助金適用前)

単位料金調整額 = 26,500 円 /100円×0.0891^{*2}

(補助金適用前)

= 23.61 円^{*3}

^{*2} 変動額100円につき単位料金を0.0891(0.081×1.1)円調整します。

^{*3} 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

■単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定(補助金適用後)

単位料金調整額 = 23.61 円 − 18円 = 5.61 円

(補助金適用後)

5. 標準家庭料金の算定方法

東京地区等

本体料金(税込) = 基本料金(1,056.00円)
+ 調整単位料金(130.46円) + 5.61 円) ×30m³
基準単位料金(税込) ↑ ↑ 単位料金調整額(税込)
= 5,138 円
・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m³あたりの単価)を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格(57,250円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0891円(0.081円に1.1(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が156,200円(調整上限)を超えた場合には、「平均原料価格」は156,200円としてガス料金の調整を行います。